

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名	通常砂防		路河川名等	袖沢				
事業毎の通番	10	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	川手(かわて)			
事業概要	事業目的	袖沢は、一級河川姫川支川の一級河川谷地川へ流入する流域面積1.3km ² の土石流危険渓流であり、昭和30年代後半から砂防堰堤等の施設整備が進められてきたが、平成26年11月22日の神城断層地震により、流域内に斜面崩壊が発生し、渓床に不安定土砂が堆積していることから、出水による土砂災害の発生が危惧されている。このため、砂防堰堤を増設する土砂災害対策を実施し、下流の人家9戸と大町市の地域防災計画に位置付けられている避難所1棟の保全を図る。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上(災害に強い地域づくり)	事業実施の根拠法令等	砂防法				
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	避難所1棟		人家戸数 9戸				
	着手年度	平成28年度	事業期間	5年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	3.8	国庫	その他	県債	一般財源
全体事業内容(主な工種)	砂防堰堤工 2基			300,000	150,000	135,000	15,000	
年度事業内容(主な工種)	地質調査・地形測量・詳細設計 1式			10,000	5,000	4,500	500	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	避難所1棟、人家9戸						
	間接的効果(定量的・定性的)							
評価の視点	必要性	【保全人家】9戸 【保全公共施設】集会所 【要配慮者利用施設】なし 【避難場所・避難路】川手集会所					評価	B
	重要性	【過去の災害履歴】平成26年11月22日(神城断層地震) 【交通影響】なし 【地域防災計画位置付け】地域防災計画に位置付けあり(土石流危険渓流 避難所)					評価	A
	効率性	【費用対効果】B/C=3.8 【早期効果発現】事業期間:5年間 【工法等比較検討】砂防計画策定時に位置、構造等を検討 【流域の総合調整】治山事業と調整中					評価	A
	緊急性	【地形地質】第三紀層のため地質は脆弱 地震により斜面崩壊と不安定土砂が堆積 【流域植生】放置林 【平均渓床勾配・土砂整備率】勾配:15° 土砂整備率:50%以上 【危険地区】土砂災害防止法に基づく警戒区域の指定あり					評価	A
	計画熟度	【情報共有】関係者を中心に周知 【地域要望】地元区から要望があり協力的 【地域合意】過去から砂防設備を設置している渓流であり合意形成が図られている 【住民参加】地震を契機として知事もより要望が出されている					評価	B
	部意見	当該渓流には、人家のほか大町市の避難所が立地しており、また地震の影響による不安定土砂が存在していることから、速やかな土砂災害対策が必要である。	行政改革課意見	上流域には崩壊地が存在し、河床に不安定土砂が堆積している。保全対象には人家、避難所である集会所があることから、重要性、緊急性が認められる。	評価結果	○	総合評価	B

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)

位置

神城断層地震震源地
白馬村 堀之内地区

計画位置

流域概要図

1号堰堤 2号堰堤

一時避難所「川手集会所」

新たな崩壊地

【整備の必要性がわかる状況写真等】

神城断層地震によるクラック

地震による崩壊地

一次避難場所「川手集会所」
収容人数 4地区 50人

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	袖沢は、一級河川姫川の支川一級河川谷地川へ流入する流域面積1.3km ² の土石流危険渓流であり、昭和30年代後半から砂防堰堤等の施設整備が進められてきたが、平成26年11月22日の神城断層地震により、流域内に斜面崩壊が発生し、渓床に不安定土砂が堆積していることから、出水時に土石流による災害の発生が危惧されている。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年11月22日の神城断層地震による斜面崩壊等を契機として大町市より砂防事業の要望がある。
③事業説明等の経緯	過去より砂防事業を進めてきた渓流であり、地元地区の合意形成は図られている。また、平成26年11月の地震による影響を踏まえ、地元地区では砂防事業の実施を望んでいる。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	周辺環境への影響を抑えることを念頭に砂防設備の設計を進める予定である。
⑥地域活性化への影響と配慮	砂防事業により、地域住民の安全・安心を確保するとともに、災害のない地域づくりを推進し、地域の活性化を図る。
⑦その他	

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 63' 41.6"

東経:E 137° 88' 04"